

防災の日を前に、避難訓練を行いました

2学期が始まり1週間と少しが過ぎました。子どもたちも学校生活のペースを取り戻し、2学期では最大の行事とも言える運動会に向けて早くも始動しています。

そんな毎日の生活が安全であるために、コロナ禍ではありますが**全校児童がそろっての避難訓練**を短時間で行いました。大きな地震が起きたという想定で、まずは机の下などに潜りました。その後、校舎が倒壊する恐れがあるため、校庭の避難場所へ移動するという訓練もしました。1学期の避難訓練は雨の影響で体育館への避難でしたので、全校が校庭へ避難する訓練は今年度初めてです。上手に避難できるだろうかと心配もしていましたが、まとめの時間に「**お・は・し・も** がしっかりできた人は手を挙げましょう。」と校長が問いかけたところ、全校のほとんどの子が手を挙げられました。ほんのわずかの手を挙げられなかった子も、緊急放送にびっくりして声が出てしまったというようなことだったかもしれません。安心して見守ることができる訓練中の姿でした。

避難する時の合言葉

お は し も	… おさない
	… はしらない
	… しゃべらない
	… もどらない



さて、この訓練は**教職員の訓練**でもあります。担当児童を安全に避難させること、人数掌握を確実にすること、防護団としての班活動を適切に実施すること…。学校が安全な場であり続けるために、限られた回数の訓練は重要です。そういう意味で、今日の訓練は価値あるものとなったでしょうか。

私が班活動を開始する指令を出した時、子どもたちが校舎に戻ることがないように後ろで見守っている先生方から、大きな「はい」の返事がありました。大勢の声が同時にはっきり聞こえてきたことに、訓練に臨む真剣さを感じ取れました。

いつも子どもたちと楽しくかかわり、穏やかに接している低学年のA先生が、まっすぐに並べないでいた子に対していつにない厳しい態度で注意していました。「この訓練の大切さを子どもたちが肌で感じるようにしなければ」という思いが伝わってきました。

子どもの命を守ることは我々教職員にとってベースとなる部分です。これは同様に、人権を守る、尊厳を守るといったことにも通じるものだと思います。2学期の初めに子どもたちと教職員のよい姿を実感できました。2学期も頑張りたいと思います。